

「学校教育目標」と「令和7年度重点目標」に向けて

「夢をもち、明るく笑顔で生き生きとチャレンジする児童の育成」

～たくましく ゆたかに ひびけ われら若楠～

○ともに学び合い、認め合いながら学びを深める子ども
○元気なあいさつ、言葉かけができる子ども ○あきらめず、前向きにチャレンジする子ども

豊かな人間性

- ・自分や友達の良さを見つけ、共に認め合う
- ・思いやりや感謝の気持ちを言葉や行動で伝える
- ・自分から進んで明るいあいさつをし、よりよい人間関係を築こうとする

健康・体力

- ・運動や遊びに進んで取り組み、元気な体をつくる
- ・自分の体と心を大切にする
- ・自分の健康づくりの課題に気づき、自分で考えて取り組む

資質・能力の育成

何ができるようになるか
○学校教育の基本

- ①学習したことや体験したことを生かして学ぶことができる
- ②その場の状況に適した対応をし、課題を解決することができる
- ③主体的に考え、判断し、行動する

何が身に付いたか
○学習評価を通じた学習指導の改善

- ①学習したことや体験したことを学習活動等と比べたりつなげたりしている
- ②その場の状況を把握し、主体的に考えて、課題を解決する方法を見つけようとする
- ③自分の考えをもち、学び合いながら、自分の考えを広げたり深めたりしている

子どもの実態

- 与えられた課題に一生懸命に取り組む
- 素直に頑張ることができる
- 語彙が少なく、言葉がきつい

子どもの発達をどのように支援するか
○配慮を必要とする子どもへの指導

- ・人的環境のユニバーサルデザインを基盤にしたあたたかい集団づくり
- ・学校生活支援員、特別支援学級支援員、学習支援員、SC、SSWの活用及び関係機関等との連携
- ・子ども一人一人の教育的ニーズの把握と支援
- ・職員間での情報共有、協働

目指す子どもの姿

- 自分で考え、行動する子
- 互いを思いやり、認め合う子
- あきらめず、前向きに挑戦する子

何を学ぶか
○教育課程の編成

- ①教育活動全体を通した「聴いて 考えて つなげる」の実施
- ②学校運営3部会（「知・心・体」育成）によるねらいを明確にした教育活動の年間指導計画作成と実施
- ③6年間を見通した授業づくりと教科横断的な視点に立った年間指導計画の作成
- ④家庭や地域、幼・保・こ、小、中とのつながりを大切にした行事・単元づくり

どのように学ぶか
○教育課程の実施

- ①「あたたかい聴き方 やさしい話し方」を基盤とした子ども主体の授業の推進
- ②ICTの効果的な活用による学習活動の充実と授業改善
- ③「学びのプラン」による資質・能力の育成の明確化、指導と評価の一体化
- ④児童の主体性を生かす活動の工夫

実施するために何が必要か
○指導体制の充実、家庭・地域の連携・協働

- 安心感・共感・集団肯定感を大切にした学級づくりの推進
- 異学年でのつながりを生かした縦割り活動（ひびき活動）や学びの場の設定
- 自らの未来を切り拓いていくために必要な資質・能力を育成するための校内研究推進と学びの環境づくり
- 若楠まちづくり協議会との連携及び地域学校協働活動推進員、ボランティアむつみの活用

安心・安全を守る

- 人権・同和教育、教育相談、いじめ防止等に向けた取組の充実
- 「自分で考え、判断し、行動する」安全教育・防災教育の実施
- 家庭、地域との情報共有及び連携・協働

開かれた学校づくり

- 学校運営協議会を活用した教育目標周知と学校評価
- 地域の各種団体（まちづくり協議会、地域子ども教室等）、幼・保・こ、小、中との連携・協働
- 地域の教育資源や学習環境、出前授業等の活用
- 学校ホームページや学校便りを通しての発信